

「石に立つ矢」の如く

真のLED電球を開発

(楚の熊渠子^{ゆうせうし})が夜間行軍をしたとき、横たわる石を見て、てっきり虎がうずくまっているものと思い込み、勢いよく矢を發した。すると、矢は射抜けるはずのない石を射抜き、金の鏃^{やじり}から矢羽根まで石の中にめり込んでいた。『韓詩外伝』にある

「石に立つ矢」の故事であり、一つのことばに専念すれば何事も成就できる。誠意、事に当たれば、どんな困難も乗り越えられるという経営者を鼓舞する一節だ。KKテクノロジーズ(株) (代表取締役・加賀谷 史央氏)は「電解コンデンサレス

LED電球」を開発、販売している21世紀型先覚企業。大手電器メーカー出身のメンバーが集まり、「確かなエレクトロニクス商品を、低単価で社会に届けたい」という高い志を持って独立した気概の新進気鋭だ。その製品は長寿命で省エネだけでなく、演色性の問題も解決できる。ゆえに生鮮食料品売り場、レストラン、美容院、美術館等、正確な色再現が求められる場所で真価を發揮し、広く利用される頻度が高い。長く世界の先頭を走ってきたメーカーで光に携わってきただけに、光に対する思い入れも熱く、より良い製品を作ることへの信念こそが、同社の創業の基軸と言えよう。大企業にはできない流通と、大企業にもヒケを取らない技術力の融合で、作り出された製品はまさに「石に立つ矢」の如き努力と精進の賜物だ。真の長寿命電球を完成させたが、より成長を目指して更なるチャレンジ精神に磨きをかけている。